

HIC通信

Vol. 95
January 2017
Hiroshima
International
Center

目次

- P2 特集
グローバルな人材を育てる
P4 事業報告
交流部
留学生活躍支援センター

- P9 イベント・講座案内
Upcoming Event News
P10 JICAレポート
こちら JICA デスク
P11 コラム
Hello Hiroshima

グローバルな人材を育てる

ひろしま国際センター研修部の取組み

グローバル人材といえば、「語学力」「高学歴」などのイメージが先行しがちですが、どのような人材なのか。

私たちが考えるグローバル人材は、けっして英才教育だけで育てるのではなく、多様な文化や生活習慣、考え方の違いを理解しながら共に生きていく、世界に通用する人材であると考えます。日本だけを基準にしないで、地球規模で広く物事を考えることができるというのがグローバル人材だと考えています。

急速なグローバル化が進む反面、海外に関心を持たない内向き傾向の若者が多くなり、ヘイトスピーチの問題なども深刻化しています。

ひろしま国際センター研修部では、グローバルな人材を育てるため、国際社会や開発途上国の現状などについて理解を促す事業として、JICA 中国国際センターから受託し、開発途上国から来日している研修員と交流する事業、「学校

訪問」、「世界まるごと体験デー」などを実施しています。子どもの頃から、世界の言葉や食べ物などの生活習慣の違いや世界で起こっている貧困や戦争、環境破壊などの問題を知り、考えるための手助けを行っています。



学校訪問

学校訪問は、開発途上国から来日しているJICA研修員が県内の小中学校を訪ね小中学生や高校生と交流し、途上国や異文化に対する興味・関心を引き出す機会を提供しています。

様々な国の研修員と直接触れ合うことで、教科書だけでは学べない世界の様子や日本との違いや共通点に気づき、異文化理解を深めることをねらいとしています。この写真は今年7月、ルワンダ、ネパール、タジキスタンなど7カ国の研修員が、近畿大学付属高校を訪問した時のものです。



ひろしま国際センター研修部の
具体的な
取り組み

世界まるごと体験デー

世界まるごと体験デーは、東広島市の国際プラザで市民の皆さんのが遊びやクイズなどを通じて外国の方と交流をし、楽しみながら世界を知ることができるイベントです。

世界まるごと体験デーでの体験を通して、驚きや発見と共に、違いを楽しみ、世界の国々又は異文化に対して親しみを感じていただけるよう、外国人とのコミュニケーション能力を高めることをねらいとしています。

今年度は、第1回目を9月24日（土）に開催しました。

遊びのコーナーでは、ザンビアのハンカチ落としや、マラウイの人数集めゲームなど、その国の研修員と一緒に体験しました。その他、会場内にいる、約15か国35名の外国の方を対象にインタビューをして、サインを集める企画では、ドキドキから会話できた喜びを得た子どもたちの表情に変化が見られました。

次回は、2017年2月11日（土）東広島市の国際プラザで世界の遊びやクイズ、手作り体験などを通じて、国際理解を促します。是非ご参加ください。

グローバル人材育成に貢献する開発教育についてお尋ねしました

お答えくださったのは
JICA 中国 国際センター 市民参加協力課
新川 美佐絵 さん

JICA 中国では、学校や市民団体の方に中国国際センターにお越し頂く「JICA 中国施設訪問『国際理解教室』」や、JICA のスタッフ・ボランティア経験者が学校や公民館等を訪問する「国際協力出前講座」など、開発途上国の現状や世界の課題を知ってもらい、自分になにができるかを考えて頂く「開発教育支援事業プログラム」を実施しています。



開発教育って？

開発教育とは英語の Development Education を日本語に直訳した言葉ですが、あまり馴染みがないかもしれません。当初は“かわいそうな子どもたちのために”募金をうながす広報活動に近いものでした。しかし、途上国へ多くの援助が寄せられても発展がなかなか進まず、先進国との経済格差が広がる状況を見ると、先進国が便利さや物質的豊かさを追求するがあまり、そのしわ寄せが経済的弱者たる途上国にきていることが理解されるようになりました。大量消費社会に身をゆだね、買っては捨て、を繰り返しながら募金活動をしても、根本的な世界の貧困解決にはつながらない。そういう気づきの中で、公正な地球社会を実現するために、世界的問題が自分の日常生活とどうつながっているかを「知り」、それらの問題解決の方法を「考え」、一人一人が「行動」していくという、現在の開発教育のスタイルができていきました。

以上のような経緯から、開発教育は教育活動でありながら日本の公教育の場では馴染みが薄く、むしろ対象を子どもたちにしぶることなく、広く市民全体を対象にした活動として普及していきました。さらに、2015年2月に策定された「開発協力大綱」にも「学校教育を始めとする様々な場を通じて、世界に直面する様々な開発課題の様相および我が国との関係を知り、それらを自らの問題として捉え、主体的に考える力、また、その根本的解決に向けた取り組みに参加する力を養うため、開発教育を推進する。」とあり、その重要性はますます高まっています。



開発教育のもう一つのねらい

他者理解という段階からさらに歩を進めたところに開発教育の特長と意義があると考えます。開発教育が扱うテーマは海外の諸問題だけではありません。

JICA が行う開発教育支援事業のプログラムでは、一方的な講義ではなく、ゲームなどの体験活動を通じて自分自身の思い込みや偏見に気づくワークショップも展開しています。自分の内なる差別意識に気づき、それらをさらけ出し、自分の負の感情を直視すること。その上で日本国内外の様々な問題を考えるとき、自分と社会とのつながりや関わりを、決してきれいごとではなく現実的に捉えることができると言えます。それこそが開発教育のもう一つの重要な目的といえます。

今、自分が世界のためにできること

JICA のプログラムを体験した中高生からしばしば聞かれことがあります。「私たちに今できることはなんですか？」。すぐに頭に浮かぶのは募金や寄付でしょう。世界で活躍する NGO などの団体を調べ、自分の想いと合致する活動を展開する団体をサポートすることは非常に有意義なことです。しかし、それよりもっと簡単に始められることがあります。あなたのタンスにある服はどこで作られたのですか？あなたが今使っているスマートフォンや携帯電話に使われているレアメタルの原産国を知っていますか？そしてその国で長期化している紛争については？ここ数日の食事を残さず食べることができましたか？日本の食糧廃棄量が 600 万 t 以上でそれは世界の食料援助量の約 2 倍にあたることを知っていますか？……

まずは自分の日常生活と世界－特に世界の 8 割を占める途上国－とのつながりを知り、ライフスタイルをできる範囲で、ほんの少し見直すこと。そしてその小さな行動も、集まれば世界を良くするうねりになると信じること、たとえ遠回りでもやり続けること。これらのこと、今すぐ誰にでもできる簡単な第一歩ではないでしょうか。

• Activity Report •

交流部



Report 1 「国際交流・協力の日2016」に参加しました

11月20日（日），広島国際会議場（広島市中区）にて「国際交流・協力の日2016」（主催：公益財団法人広島平和文化センター）が開催されました。このイベントは，在住外国人を含む市民のみなさんに，楽しみながら異文化に触れ，国際交流・協力について考えるきっかけ作りの場となることを目的としており，今年で17回目の開催となりました。

当センターは，昨年に引き続き，JICA中国，青年海外協力協会と一緒に「地球ひろば」を出展しました。

「地球ひろば」には，約400人もの家族連れや外国人の方が次々と来場され，当センターが運営した，「外国人の人とお話ししよう」コーナーでは，学生や子どもたちが，ボランティアの外国人の方々と楽しくお話をする様子が見られ，終日賑わいました。

来年も，皆様が楽しめる企画を実施しますので，ご期待ください。



交流部



Report 2 「平成28年度多文化共生担当職員 第2回テーマ別研修会」を開催しました

9月27日（火）に多文化共生担当職員 第2回テーマ別研修会を開催しました。この研修会は，県内の各市町や市町国際交流協会で多文化共生の業務に従事されている職員や相談員の方を対象に，実施している研修会です。

今回の研修は，「外国人の声から考える多文化共生社会」をテーマとし，「外国人女性の会 パルヨン」の創始者ハッカライン・ニーナさん，東日本大震災後に設立された「つばさ～日中ハーフ支援会」の代表城坂愛さんを講師としてお迎えいたしました。

京都の「外国人女性の会 パルヨン」さんは，外国人の視点で京都府上京区に住む外国人のための生活ガイドブックを外国人当事者と日本人のメンバーが協力して作られました。日本人が当たり前に思っている生活習慣，例えば引っ越ししてきた時の近所への挨拶，近所付き合いなどが，わかりやすく絵を使いながら説明されていました。外国人にとって必要な情報について改めて知り，このような生活ハンドブックが広島にもあるといいと実感しました。

福島県の「つばさ～日中ハーフ支援会」さんの活動は，中国にルーツをもつ子どもへの母語保持や次世代のアイデンティティの確立を目的に，家族ぐるみの課外活動を行われています。そのような中国人コミュニティの場で，お互いを支え合っているそうです。最近は地域の日本人の家族が参加し，地域の文化交流活動も展開され，地域との絆も深めているそうです。

お二人の外国人講師からは，外国人を支える団体の取り組みにおいて，大事なことは地域とのネットワーク作りで，その橋渡し役となったのが，自治体職員，国際交流協会職員，地域の町興し隊等だったとお話を伺い，当センターとしての役割を改めて認識しました。



交流部

Report 3 「ボランティア通訳ガイド講習会」を開催しました

9月10日(土), ボランティア通訳ガイド講習会を開催し, 50名の方に参加いただきました。今年は「西条 広島のお酒」をテーマに, 三大銘醸地のひとつ西条の酒蔵を巡るモデルコースを紹介し, 観光ハイライトを学びました。ひろしま通訳・ガイド協会の畠崎雅子先生を講師に迎え, ガイドする際のポイントや, 英語の効果的な学習法, 経験豊富な先生のエピソード等を楽しく, またフランクにお話しいただきました。また, 銘酒を作るために大切な水を参加者の皆さんに飲んでいただき, その水の味の違いを体感していただきました。参加者の方からは「お酒に関するだけでなく, 歴史や環境など興味深い話がたくさん聞けた」「お客様の心に添わせたガイドの姿勢を学びました」との感想をいただきました。本講習会が, ご参加いただいた皆様それぞれの感性を生かした広島のさらなる魅力発信に繋がれば幸いです。



交流部

Report 4 留学生奨学金 第2回交流会を開催しました



奨学金の受給者と協賛企業・団体との交流の促進を目的として, 年2回の交流会を開催しており, 11月30日(水)に第2回交流会を行いました。

この交流会に先立ち, 渡日等留学生支援に係る奨学金(後期)の支給者8名に奨学金決定通知書の授与を行いました。続いて開催された交流会では, 留学生, 協賛企業・団体の関係者および大学関係者の皆様 合わせて100名を超える参加者が一堂に会し, これまでの学生生活で取り組んだこと, 奨学金をどのように役立てているか等を語り, 懇親を深めました。また, 広島大学大学院の李 博さんによる中国話芸「快板」が披露され, 会場は大いに盛り上がりいました。ご参加いただいた皆様, 誠にありがとうございました。

留学生生活躍支援センター

Report 5 外国人留学生対象「企業見学ツアー」を開催しました

11月17日(木)に「企業見学ツアー」を開催しました。

今回の訪問企業は、「ツネイシホールディングス株式会社」様。広島県内の大学および日本語学校の留学生, 38名が参加しました。

当時はバスが30分以上も早く到着してしまう!というアクシデントが発生しましたが, 企業担当者様の計らいで「船の造り方」についてもご説明いただきました。また, ツネイシグループの説明や, 造船工場の見学, 先輩社員(元留学生)の方にお話を伺いました。

今後もこのイベントをとおして, 県内企業の魅力を留学生の皆さんに伝えていきたいと思います。

最後になりましたが, ご協力いただきました「ツネイシホールディングス株式会社」の皆さん, ありがとうございました。



• Activity Report •

留学生活躍支援センター



Report 6 平成28年度第2回 留学生活用セミナーを開催しました

10月27日(木)に「高度外国人材の活用に向けた採用と育成について」をメインテーマとして、本年度2回目の留学生活用セミナーを開催しました。第1部は（一財）アジア太平洋研究所 主任研究員の山下氏による基調講演とジェトロ「新輸出大国コンソーシアム」エキスパート小口氏による在留資格セミナー、第2部では福岡県より(株)西部技研（平成27年経産省「ダイバーシティ経営企業100選」選出）による事例発表と、元留学生で同社社員の曹氏へのインタビューを実施しました。当日は企業採用担当者や留学生など50名超の参加がありました。講演終了後の質疑応答では、各講演者をはじめ、元留学生である曹氏へ「日本企業に勤めようと思った理由は？」等の質問があり、活気ある質疑応答となりました。



留学生活躍支援センター



Report 7 外国人留学生のための「就職活動実践セミナー」開催中です

外国人留学生を対象とした、就職活動のノウハウやスキルを身に付けるための「就職活動実践セミナー」が、11月13日(日)の東広島会場を皮切りに始まりました。広島・福山も含めた3会場で開催する3回完結のセミナーです。就職活動で必要な、自己分析・企業分析のやり方、応募書類の書き方、面接の対策、在留資格などについて学びます。

今年度もたくさんの留学生が受講中です。希望する企業の内定を獲得するため、留学生の皆さん頑張りましょう!!

会場	開催日	開催場所	定員
広 島	11月27日(日) 12月11日(日) 1月15日(日)	ひろしま国際センター (広島市中区中町8-18 6F)	35人程度
東広島	11月13日(日) 12月18日(日) 1月22日(日)	東広島芸術文化ホールくらら (東広島市西条栄町7番19号)	35人程度
福 山	11月23日(水) 12月10日(土) 1月14日(土)	まなびの館ローズコム (福山市霞町1-10-1)	20人程度



留学生活躍支援センター



Report 8 文科省委託事業「ジョブフェアオンキャンパス」を開催しました

11月30日、広島大学において「留学生と企業のためのジョブフェアオンキャンパス」を開催しました。第1部では「母国と日本を繋ぐ留学生の役割」をテーマに東京工業大学 佐藤准教授による基調講演と、(株)オリジネーターの工藤氏より留学生への就活支援セミナーを開催、企業・留学生など約50名が参加。また、第2部では、約60名の留学生が、日本企業を知るための①業界・企業研究会（24社出展）と②留学生交流サロン（企業と留学生の交流会・元留学生との交流会）に参加。①では、それぞれが希望する企業ブースで担当者のお話に熱心に耳を傾け積極的に質問する留学生の姿がみられました。企業の採用担当者と留学生が小グループで意見交換をする「企業と留学生の交流サロン」では、話しが盛り上がってセッション終了後もやり取りを続けるグループも。一方、日本企業に勤める留学生OB・OGと話せる「元留学生との交流会」では、日本での就職活動の進め方や日本企業での働き方について、和やかな雰囲気のなか情報交換や相談がなされました。



留学生活躍支援センター



Report 9 「留学生による伝えるHIROSHIMAプロジェクト」を開催します！

主に広島県外の留学生を対象として、「留学生による伝えるHIROSHIMAプロジェクト」を2017年3月22日(水)～24日(金)に2泊3日で開催します！平和公園や広島平和記念資料館を見学し、平和と復興をテーマとした講演、ワークショップなどを行います。また、広島ならではのお好み焼き体験や、マツダミュージアムの見学も予定しています！留学生の皆さん、春休みを利用して広島を体験し、日本各地から集まった学生と交流してみませんか？

詳細・申し込み方法については、これからホームページなどでお知らせしていきます！

留学生活躍支援センター HP : <http://www.int-students-hiroshima.jp/>

留学生活躍支援センター Facebook : <https://www.facebook.com/hints.sc>



昨年度の様子

留学生活躍支援センター



Report 10 交流イベント「尾道ウォークラリー大会」を開催しました

11月26日(土)、「尾道ウォークラリー大会」を開催しました。広島地域留学生会が主催し、県内の留学生、日本人学生52名が集まりました。

留学生と日本人学生と一緒にグループを作り、それぞれのグループで10個のミッションに挑戦しました。

ミッションは例えば、「猫の細道で福石猫を10個さがしてみよう！」「秋の俳句を1句作って、俳句ポストに投函してみよう！」「尾道の人気のパン屋さんで一番人気のパンを食べて、その感想を動画でとってください！」などなど。ミッションクリアしたら証拠となる写真や動画を、Facebookのイベントページに投稿していくルールで、楽しそうな投稿がたくさん届きました！

みんな一生懸命ミッションに取り組んでくれ、ほとんどのチームが全部のミッションをクリアしてくれました。

今回のイベントで、普段はなかなか出会う機会のない、他校の友だちもできたのではないかという意見が多かったようです。今後も広島地域留学生会では、留学生、日本人学生、地域の人たちが交流できるイベントを企画していきます。お楽しみに！



文部科学省「住環境・就職支援等 留学生の受け入れ環境充実事業」

留学生と企業 のための JOB FAIR ON CAMPUS

入場
無料
事前申込不要

2017

1.20 金
11:00 ▶ 16:30

ジョブフェア オン キャンパス

福山大学:宮地茂記念館

宮地茂記念館7,8,9階

広島県福山市丸之内1丁目2番40号

参加対象

- 大学・大学院・短期大学・高等専門学校・専修学校を卒業予定の外国人留学生
- 企業の採用担当者、大学関係者等

日本での就職が1日でよくわかるジョブフェアオンキャンパスを企画しました。

第1部 11:00 - 13:00 会場 宮地茂記念館 9階

グローバル人材活用セミナー 11:00~12:00

「日本企業の働き方改革と海外人材戦力化の課題
—アジアでのキャリア形成を展望する—」

【講師】関西学院大学 経済学部(労働経済学)

教授 井口 泰

事前申込 不要
企業の方、
大学等関係者も
参加可!

外国人留学生のための日本での就活支援セミナー 12:10~13:00

「日本の就職活動の進め方と対策」

【講師】一般社団法人 留学生支援ネットワーク 事務局長 久保田 学



第2部 13:30 - 16:30 会場 宮地茂記念館 7,8階

業界・企業研究会

1 外国人留学生の採用を考えている企業がブースを出展します。採用担当者の方々と直接話して、日本の企業について研究してみましょう。
出展企業: 20社(予定)

【JR山陽本線をご利用の方】

JR福山駅(北口)から

JR福山(北口)

徒歩 約1分

学校法人福山大学宮地茂記念館

留学生交流サロン

2 •企業と留学生の交流会 14:20~16:00
•元留学生との交流会 15:00~16:30
出展企業: 18社(予定)

事前
申込

無料送迎バスを運行します!



① 岡山方面 ② 広島 方面 ③ 東広島 方面

利用希望者は右記よりお申込みください。

* 参加企業数は多少変動する場合がございます。予めご了承ください。

主催: (公財)ひろしま国際センター・広島県留学生活躍支援センター

企画・運営: キャリアプランニング

広島県留学生活躍支援センター

担当者/尾本(おもと) 矢城(やしろ) 久保田(くぼた)

お申込み方法

詳細・お申込みは[こちら](https://goo.gl/3Uw8im)
<https://goo.gl/3Uw8im>



スマートフォンからはQRコードでアクセス!

お問い合わせはこちら

082-541-3781

Email: office@int-students-hiroshima.jp

Upcoming



Event News



広島インターナショナルスクール・フェスティバル

毎年恒例のフェスティバル（学園祭）を行います。当校は各国料理のブース、ゲームコーナー、当校の生徒やゲストによるステージでの様々なショーを開催予定で、小さなお子さんから大人まで楽しめるイベントです。ぜひお越しください。（お問い合わせはメールにてお願ひします）

日 4月15日（土）

時 10:00～16:00

場 広島インターナショナルスクール（安佐北区倉掛3-49-1）

定なし

費 無料

問 広島インターナショナルスクール PTA

TEL : 082-843-4111

info@hiroshima-is.ac.jp

「ユニセフ国際理解講座」

～世界の子どもたちをあらゆる病気と死から守るには～

元ユニセフ職員で、現在、近畿大学社会推進センター教授の安田直史さんを講師にお招きします。

タンザニアやベトナムで保健分野の支援に携わった時の話を中心に、開発途上国の子どもたちとの関わりについて聞きます。また東日本大震災復興の際に、岩手フィールドマネージャーとしてかかわった話も聞いて、いっしょに考えましょう。

日 2月26日（日）

時 13時30分～15時30分（その後希望者で1時間程度の交流会あり。）

場 サテライトキャンパスひろしま（広島県民文化センター5F）

定 100名

費 講座への参加は無料です。

（交流会に参加される方は、飲み物代などは実費です。）

問 広島県ユニセフ協会

担当者：高田 和美

TEL : 082-231-8855

unicef-hiroshima_06@theia.ocn.ne.jp



多文化共生講座

サヘル・ローズ講演会

～外国人が日本に暮らすということ～

■日時 1月28日（土） 参加費無料 定員180名

開演／14:00～16:00（開場13:30）

■会場 サテライトキャンパスひろしま（5階大講義室）

■対象・お申込方法 **要予約**

対象 外国人とのコミュニケーションに興味のある方

申込方法 ひろしま国際センターホームページにてお申込みください。

応募者多数の場合、抽選とさせていただきます。

※当選の方には1/16（月）までにEメールにてご連絡いたします。

※迷惑メール対策などで「ドメイン指定受信」等の設定をされているお客様は、当センターからのメールを受信できるように設定を行ってください。ドメイン指定受信を設定する場合は、@hiroshima-ic.or.jp のドメインを指定してください。

応募締切 2017年1月12日（木）まで



＜講師紹介＞

1985年、ベルシャ生まれ。8歳の時に養母とともに来日。高校時代から芸能活動を始め、J-WAVEでラジオDJデビューし、TV、ラジオ、映画、舞台と活動中。現在、「探検パクモン」（NHK総合）進行役、「ノンストップ！」「いいものプレミアム」（フジテレビ）、「サヘル・ローズのイチオシNIPPO N」（BS12Twelve）などレギュラー出演中。映画では「東京島」、「ベコロスの母に会いに行く」、「振り子」、「みんな!エスパーだよ!」、「永い言い訳」などにも出演。

お申込みは
こちらから



広島から世界へ! 僕たちにできることは必ずある!

広島から世界へ！ 1月上旬より、広島県出身のJICAボランティア6名が
ジャマイカ、ウルグアイ、ヨルダンなど6カ国へ向けて出発します！



帰国隊員レポート ～モンゴル篇～

大平 緑さん



現地での活動内容

配属先は、現地の孤児や貧困家庭の片親の子ども40人を保護・養育している児童養護施設「太陽の子ども達」。日本の団体・個人が施設を支援している関係から、子ども達へ日本語授業や日本文化紹介等の活動を行いました。また、広島出身者として「ヒロシマ・ナガサキ原爆展」をモンゴル国内で、地方、都市合わせて6回実施。子どもから大人まで260名以上の方に参加していただき、核兵器の恐ろしさや平和の大切さを伝える平和学習を行いました。

モンゴルってこんなところ！

『真っ青な大空の下にどこまでも続く緑の絨毯のような大草原。そこにぽつぽつと白く点在する「ゲル」（遊牧民の移動式の家）の周りには、羊やヤギなどの家畜が馬に乗った遊牧民に放牧されている…』モンゴルと言えばこのようなイメージですが、その絶景が見られるのは6月中旬～8月中旬までの2か月間だけ。一年の大半は冬で、大草原を雪が覆い、外に10分もいると全てが凍ってしまう氷点下の世界です。寒い時はマイナス30度！まつ毛も凍ります。成田空港から直通便で5時間という比較的近い国なので、日本の地形とは全く違う大陸の大自然に触れる旅を楽しんでみてはいかがでしょうか？観光に行くなら乗馬が楽しめる夏がお勧めです。

遊牧民から学ぶべきこと

厳しい自然環境の中でつましい暮らしをしている遊牧民の子育ては、家族にいつ何が起きても子どもたちが一人で生きていくよう、徹底した「自立」教育を行っています。子どもたちは幼児期から家事を手伝い、馬にも乗り、18歳にもなるともう立派な大人です。それだけでなく、遊牧民の暮らしは究極の「エコ」！ソーラーパネルで自家発電を行い、水の使用は最小限。家畜も食べるだけでなく、衣服や道具に使ったりと無駄なく扱います。現在、日本で盛んに取り組まれている「生きる力」をつけさせる教育、「エコ」な暮らしにおいて、遊牧民から学ぶべきことがたくさんあると感じます。

■現在赴任中の広島県出身 JICAボランティア(名)

区分	男性	女性	合計
青年海外協力隊	15	28	43
シニア海外ボランティア	6	1	7
日系社会青年ボランティア	0	2	2
日系社会シニアボランティア	0	1	1

平成28年9月30日時点

JICAボランティア <青年海外協力隊とは!?

「自分の持っている技術・知識や経験を開発途上国の人々のために活かしたい！」という強い意欲を持つ20歳～39歳の日本国籍を持つ方が対象のボランティアです。

派遣は原則2年間。衣食住を現地の人とともにしながら、互いに理解を深め、途上国の発展を支援する。そんな現場レベルのボランティアに、あなたも参加してみませんか！？

40歳～69歳の方を対象とした「シニア海外ボランティア」もあります。

モンゴル国

東アジア北部に位置する国家。

【概要】面積：156万4,100km²（日本の約4倍）

人口：306万1,000人（2015年、モンゴル国家登記・統計庁）

首都：ウランバートル

公用語：モンゴル語（国家公用語）、カザフ語

宗教：チベット仏教等



▲活動先の「太陽の子ども達」のみんなと一緒に！



▲夏のモンゴル



▲配属先の子ども達と一緒にひらがなの書き方表を作成



▲首都の大学で原爆展を行った時の様子

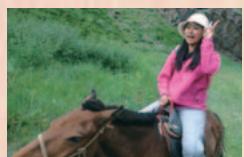
おひらみどり 大平 緑さん プロフィール

・広島市出身

・大学卒業後、中高一貫校にて英語教師を勤める。その後、2014年10月から青年海外協力隊としてモンゴル（青少年活動）に派遣。

参加のきっかけ

国際ボランティア・サークルの一員として活動に励んでいた大学時代から「国際協力」「ボランティア活動」には、生涯を通じて携わっていきたいと考えていました。教師時代、そういう活動に時間を割けなくてモヤモヤとした気持ちを抱えていた時、たまたま遊びに行った中華人民共和国で、現地に溶け込んで生き生きと活動している協力隊の友達を見て、「自分の今やりたい事はこれだ！」と気づき、応募を決めました。



参加して思うこと

協力隊活動では「教える」ことよりも「学ぶ」ことの方が多かったです。「愛の大切さ」に改めて気づかされたこともその一つです。活動先の児童養護施設では、子どもたちが兄弟同然に過ごし、先生達が親代わりとなって大家族のように暮らしています。先生達の深い愛情があるからこそ、素行の悪かった子どもたちも年齢を重ねるごとに素直にすくすく育っていました。私自身、ハグや「愛してるよ」といった直接的な愛情表現を受けることで周囲からの愛をいっぱい感じ、それによって自分に自信や余裕が生まれました。帰国した今、帰国前よりも家族や友人を愛おしく想う気持ちがいっそう強まり、自分を支えてくれている人達をもっと大切にして生きていこうと考えるようになりました。

身近な国際協力に参加してみたい！ と思ったら…

JICA中国や広島県JICAデスクでは、イベント情報のご案内や活動紹介などをホームページだけでなく、facebookでも発信しています！もちろん、直接話を聞いてみたい！という方も大歓迎。下記、問い合わせ先までお気軽にお問い合わせください。

●広島JICAデスクfacebookはこちら→



Hello Hiroshima

Vol.95 January 2017



One Bento To Rule Them All

Daniel Mackey

I can't believe that four months have already passed since I arrived in Hiroshima. Time really does fly by when you're busy at work. I can still keenly recall the day before I left for Japan, when everything was in a state of pandemonium and I had to dash around doing last minute shopping and other preparations.

The sudden change in environment was not easy to adapt to during my first couple of months here. I remember feeling like my body was in Japan, but I had left my mind back in Canada. It was definitely a peculiar sensation. This may have partly been a side effect of the heat wave that hit me pretty hard during the month of August.

It was with open arms then that I welcomed the coming of autumn in Hiroshima. The intense heat of summer suddenly gave way to comfortably warm days with cool nights. In Canada, I don't think I'd be exaggerating when I say that everyone looks forward to summer weather all year long. That thought helps us to overcome the long and often bitterly cold winters. But here in Japan, I find myself looking forward to the cooler seasons since I don't deal as well with the intense summer heat.

Since I arrived in August, work has allowed me to travel to a variety of interesting places. This includes going to Hiroshima Port

several times to interpret at welcoming ceremonies for cruise ships, going to the stunningly beautiful Shimanami Kaido to guide foreign cyclists who were participating in the recent cycling competition there, and assisting at the Hiroshima Junior International Forum which took place at International Conference Center Hiroshima located in the Peace Memorial Park.

I value these small trips away from the office because they are a good opportunity to see things and places that I normally wouldn't.

But, strangely enough, I have to say that my best experience so far has been finding a place that sells delicious and inexpensive grilled salted mackerel bento. Maybe this is a case of *Hana yori Dango* (valuing the practical over the aesthetic)? I have been a fan of grilled salted mackerel bento ever since I lived in Kagoshima some 10 years ago, and would eat it almost every day. Even during the following six years that I spent in Canada, I often thought about the incredible mackerel bento that I used to eat at my old workplace. It was so good that I would recommend it to other Japanese acquaintances, and then they also started to eat the same bento.

Well, it didn't happen overnight, but after some searching I finally found a place that sells my favorite bento at a very reasonable price. Life is good!



- 活動内容 在住外国人の方の日本語学習を一对一（ワンペア）で、お手伝いします。
- 活動場所 ひろしま国際センター 交流部（広島市中区中町8-18）
- 募集対象 外国人の方の日本語学習を手伝ってみたい方、国際交流に興味のある方、ボランティアに興味のある方。年齢18歳以上。資格・経験は問いません。（申込み時に語学力等ご相談いただけます）

【お問い合わせ】公益財団法人ひろしま国際センター 交流部

HICワンペア
日本語学習ボランティア
**外国人学習者さん増えてます！
ボランティアさん
大募集中。**

詳しくはウェブサイトへ
[HIC ワンペア](#) 検索



来館、ホームページ、郵送またはFAXでお申し込みください。郵送、FAXの場合、ホームページから登録用紙をダウンロードいただけます。登録後は当センターにてご希望条件（※）に合った方とマッチングいたします。
※希望条件は、学習曜日や時間帯、学習頻度、学習レベル等です。

tel:082-541-3777

「グローバルリレーションズ・プログラム(GRP)」参加者の声

幸せな出会いに感謝

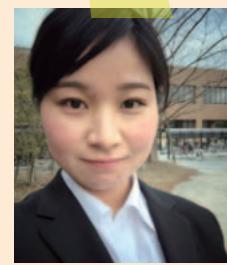
明けましておめでとうございます。皆様良いお年をお迎えでしょうか。私は侯婕と申します、中国からの留学生です。現在は広島大学社会科学研究科で博士前期課程を勉強していますが、一昨年の9月からGRPの一員としてひろしま国際プラザ(HIP)に入居させて頂きました。一年間も経ちましたが、色々思い出してみると、ここでの生活は本当に楽しかったです。

HIPで様々なイベントに参加できましたこと、沢山の人と出会えたことで、見聞が広くなって、自分もずいぶん成長していました。そして、いろんな国から来られたGRPの皆さんと友達になり、異文化の背景でお互いの事を理解し合い、一緒に生活することも人生の貴重な経験になると思っています。

私は将来日本で働きたいので、昨年三月から、日本の就職活動を経験しました。色々大変でしたが、周りから沢山の応援をいただき、みんなのお陰で就職が決まりました。広島県留学生活支援センターの先生から、親切な指導を沢山受けました。ここで日本語高等研修を受けたときの先生から、エントリーシートの内容を何回も修正してもらって、励ましの言葉もいっぱい頂きました。落ち込んでしまった時、スタッフの方々にとても優しく話を聞かせてもらいました。そして、困っていた時はみんなと相談して、なんとなく心が落ち着きました!(笑)

HIPであと3ヶ月にもならない時間ですが、みんなの笑顔をきちんと心に刻んで、ここでの生活大切にていきたいです。

コウショウ
侯婕さん(中国)



グローバルリレーションズ・プログラム(GRP)とは?

ひろしま国際プラザに入居して大学に通いながら、国際社会で活躍できる「実践力」を身につけることを目的にした、外国人留学生のためのプログラムです。現在、8ヶ国19人の留学生が参加しています。

そのほか、レジデントアシスタントの日本人学生2名が入居し、彼らを支援しています。

★入居使用料
1泊 770円 管理費 2,500円／月
月額 24,060円～26,370円(水道光熱費込み)

★現在、今年春からの入居者を募集中です。詳しくは「ひろしま国際プラザ」のHPをご覧ください。

賛助会員を募集しています!

HICでは幅広く市民の皆さんに協会の事業についてご理解、ご支援いただくために賛助会員制度を設けています。賛助会員の皆さんには、協会機関誌など国際交流情報やイベントのご案内をお送りさせていただきます。この制度を通して言葉や習慣の違いを乗り越え、心を通い合わせることのできる豊かなまちづくりと一緒に参加しませんか?

皆さまからご支援いただく賛助会費(※)は国際交流事業、国際理解教育事業、多文化共生事業に使わせていただいております。

■入会資格 協会の趣旨に賛同していただける個人、法人・団体

■年会費 個人一口 2,000円(一口以上)
法人・団体一口 10,000円(一口以上)

※当協会に対する賛助会費については税法上の優遇措置があります。

編集担当より

東広島市にある「ひろしま国際プラザ」で行われた「世界まるごと体験デー」での一コマ。にぎわう館内の一角落にある「世界の言葉で名刺作り」のコーナー。そこに真剣な眼差しで、慣れない文字に取り組む少年の姿がありました。おそらく初めて目にする言語だったのではないかでしょうか。彼が大人になった時、この日のことを、どのように思い出してくれるでしょうか。いつまでも「学び」の楽しさを忘れないでいてほしいと思います。



交流部&留学生活支援センター

〒730-0037

広島市中区中町8-18 広島クリスタルプラザ6F
TEL.(082)541-3777 FAX.(082)243-2001
E-mail／hic@hiroshima-ic.or.jp

■開館時間

月～金 10:00～19:00 土 9:30～18:00
日・祝日および年末年始(12/28～1/4)はお休みです。



研修部(ひろしま国際プラザ)

〒739-0046

東広島市鏡山三丁目3-1 ひろしま国際プラザ内
TEL.(082)421-5900 FAX.(082)421-5751
E-mail／hicc@hiroshima-ic.or.jp

■開館時間

(情報センター・図書室・NGO交流室)
月～土 10:30～19:00*
日・祝日および年末年始はお休みです。

*情報センター・図書室は平日12:30～13:30閉館です。臨時に閉所する場合は、HPで随時お知らせします。

